

横浜 特集記事

28 横浜市こども植物園

楽しみながら植物について学べる植物園

横浜市こども植物園は、昭和 54 年(1979)6 月、交際児童年を記念して開園しました。園内には 12 のエリアが点在・整備され、ニュートンのリンゴ、メンデルのブドウなど珍しい植物が多数集められています。また、バラ園は令和 2 年(2020)3 月、バラの歴史を代表する品種を見て学べる「クラシックローズガーデン」としてリニューアルオープンし、植物園を代表するエリアの一つになりました。園内には植物クイズパネルや QR コード付サインなどが設置され、楽しみながら植物について学ぶことができます。

29 神奈川県立金沢文庫

武家の文庫に由来する中世歴史博物館

鎌倉幕府の重鎮として活動した金沢北条家の文庫である金沢文庫に由来する中世歴史博物館です。金沢北条氏の菩提寺・称名寺に伝来した国宝「称名寺聖教・金沢文庫文書」をはじめとする古文書、聖教、影刻、絵画、工芸品などを保管、調査、研究し、その成果を展覧会や講座、講演会などで公開しています。また、館内の図書室では日本史や金沢地域の郷土に関する文献を多数所蔵しており、学習の場としてもご利用いただけます。隣接する称名寺の庭園の散策もおすすめです。

30 横浜・八景島シーパラダイスアクアリゾーツ

海・島・生きもののテーマパーク

横浜・八景島シーパラダイスは、海・島・生きもののがテーマの複合型海洋・ジャングル施設です。700 種 12 万点の生きものを展示する日本最大級の水族館「アクアミュージアム」や、海の生きものとさまざまなふれあい体験が楽しめる「ふれあいラグーン」などテーマの異なる 4 つの水族館をはじめ、子どもから大人まで楽しめるアトラクション、ショッピングアート、レストラン、ホテルなどが揃う、海に囲まれた自然環境にあふれる施設です。

31 金沢動物園

「動物の福祉」と「身近な保全」に注目

令和 4 年(2022)3 月に開園 40 周年を迎えた金沢動物園。インドゾウやコアラなど世界の希少種を含む草食動物を中心に飼育展示しています。近年は、動物福祉に配慮した飼育管理に力を入れており、その取組みは市民 ZOO ネットワークから 2 年連続で表彰を受けました。また、飼育動物だけでなく、地域に生息する生きものや環境の保全にも積極的に取り組んでいます。園内の「身近ないきもの館」を拠点にして、昆虫から小型哺乳類、植物に至る持続可能な共生に向けた活動也要チェックです。

32 神奈川県立地球市民かながわプラザ(あーすぶらざ)

キーワードは国際・多文化共生・平和・子ども!

あーすぶらざは、「国際」「多文化共生」「平和」「子ども」をキーワードにした総合的な施設で、3 つの常設展示室(こどもファンタジー展示室・国際平和展示室・こどもの国際理解教室)があり、週末に様々なイベントを開催しています。企画展示室では、年に数回、世界の文化等をテーマにした企画展を実施し、映像ライブラリーでは、キーワードに合わせた本・雑誌・DVD・絵本(多言語)を揃えています。情報フォーラムでは市民活動支援や外国人相談窓口を開設しています。

33 神奈川県立公文書館

記憶と記録の交差路 公文書館

歴史資料として重要な行政文書、古文書等を収集・保存し、県民共有の記録遺産として後世に伝える施設です。収蔵している資料は、約 26 万点の歴史的公文書、約 17 万点の古文書・私家文書、約 18 万点の行政文書・図書など、合計約 82 万点。資料を閲覧することができます。県の施策・業務や、地域の歴史等を調べることができます。常設展示やミニ展示、古文書講座等も実施しています。開架以外の資料の閲覧にあたっては、当館ホームページから検索のうえ、閲覧予約をお願いいたします。

34 よこはま動物園ズーラシア

ようこそ、世界一周の動物旅行へ

「生命の共生・自然との調和」をメインテーマに掲げるよこはま動物園ズーラシア。日本最大級の広大な敷地に世界の希少動物を数多く飼育し、その生息環境を再現しています。園内は世界の気候帯・地域別に 8 つのゾーンに分かれおり、世界一周の動物旅行をお楽しみいただけます。ぜひお越しください!

かながわ ミュージアムマップ 2022-2023

横浜特集



神奈川県博物館協会

神奈川県内で活動する博物館が、相互の連絡をはかり、博物館活動の振興に努め、また学術文化の進展に寄与することを目的として設立しました。現在は歴史館、美術館、科学館、水族館、動物園、植物園など 95 館園の加盟で活動しています。

活動の主な内容

1. 博物館相互の連絡と連携、情報交換
2. 博物館事業に関する調査研究
3. 研究会、研修会、映画会等の開催
4. 機関誌の発行
5. 共同事業の企画、促進

2022 発行の「ぐるりかながわミュージアムマップ」では横浜地域の特集記事を掲載しております。新型コロナウイルス感染拡大に伴い、開館時間の短縮や臨時閉館等、掲載情報とは異なる場合がございまます。お出かけ前には各館園へご確認をお願い致します。



リニューアルした横浜みなと博物館の展示

表紙の写真は
上: 横浜開港資料館
中: 横浜みなと博物館
下: 洋上からの氷川丸(日本郵船歴史博物館)

発行: 神奈川県博物館協会
〒231-0006
横浜市中区南仲通 5-60 神奈川県立歴史博物館内
TEL: 045-201-0926 FAX: 045-201-7364
E-mail: kanagawa-kenpakujo@dolphin.ocn.ne.jp

twitter.com/kngw_kenpakujo

2022 年 11 月 20 日発行

印刷: (株) TAKT-JAPAN

横浜

1 熊野郷土博物館 神社への関心と郷土愛の発揚に

社宝では、熊野山略縁起の版本・光孝天皇鑰匙箱・雨乞龍頭・刀剣などがあります。考古資料では、横浜市歴史博物館の企画展にも出展された横浜市鶴見区駒岡堂ノ前古墳出土の古墳時代の形象埴輪類・港北区師岡町出土の中世の常滑壺など、古文書では、中世の熊野山略縁起・北条早雲寄進状・民俗資料では、簡粥神事(市指定無形民俗文化財)に用いる筒などが代表的であります。特に堂ノ前古墳出土の鰐形・鞍形・大刀などの形象埴輪類は、横浜市域を代表する資料として著名です。



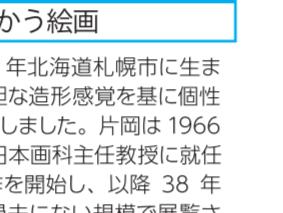
2 横浜市歴史博物館 横浜 3 万年の歴史を知りたいならココ!

横浜市歴史博物館は、「横浜に生きた人々の生活の歴史」をテーマに、横浜 3 万年の歴史を伝え博物館です。館内には、原始から近現代まで楽しみながら歴史を学べる常設展示室や、横浜に関わる歴史や文化をテーマにした展示を行なう企画展示室、調べものに活用できる図書閲覧室や魅力あふれるミュージアショップなどがあります。博物館の屋上から行き来できる国指定史跡「大塚・歳勝土遺跡」は、弥生時代の環濠集落や墓地が復元された遺跡公園として整備され、当時のムラを体感することができます。



4 そごう美術館 面構 片岡球子展 ちちむかう絵画

片岡球子は、1905 年北海道札幌市に生まれ鮮烈な色彩感覚大胆な造形感覚を基に個性溢れる日本画を生み出了しました。片岡は 1966 年愛知県立芸術大学日本画科主任教授に就任を機に「面構」の制作を開始し、以降 38 年にわたり描き続けました。本展は、「面構」が過去にない規模で展覧されます。創造の過程をたどる片岡の言葉と共に展示されます。迫力ある「面構」の数々は、見る人に大きなインパクトを与え、日本画の持つ力、新たな可能性を感じていただける契機になること確信します。



5 横浜美術館 横浜みなとみらいの中心に建つ美術館

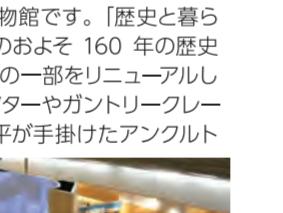
シンメトリーな外観と、吹き抜けの開放的なグランドギャラリーが特徴の当館は、7 つの展示室のほか、11 万冊以上の蔵書がある美術情報センター、ワークショップを行うアトリエ棟を備える美術館です。年間を通じて、約 1 万 2 千点の所蔵品からテーマごとに展示を行なうコレクション展や多彩な企画展を開催し、国際的な港町、横浜にふさわしい美術館として、開港以来の近代美術を幅広く紹介しています。※大規模改修工事のため休館中。2023 年 12 月リニューアルオープン。



6 横浜みなと博物館・帆船日本丸

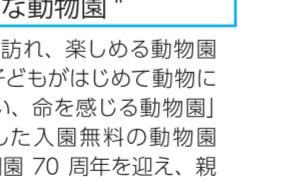
2022 年 6 月リニューアルオープン!

横浜みなと博物館は横浜港をテーマとする博物館です。「歴史と暮らしのなかの横浜港」をメインテーマに、横浜港のおよそ 160 年の歴史と役割を伝えています。2022 年 6 月に展示室の一部をリニューアルしました。新設の VR パーチャルリアリティ、シアターやガントリークリーンシミュレーターが人気です。館内には柳原良平が手掛けたアンクルトレスの広告や船の絵を展示する「柳原良平アートミュージアム」もあります。博物館のところには国指定重要文化財の帆船日本丸が係留され、船内の見学ができます。



7 野毛山動物園 横浜の中心に位置する“身近な動物園”

「誰もが気軽に訪れ、楽しめる動物園であり、小さな子どもがはじめて動物に出会い、ふれあい、命を感じる動物園」をコンセプトとした入園無料の動物園で、2021 年に開園 70 周年を迎え、親子 3 世代で親しんでいただけています。中庭には土木遺構も展示しておりますので、ぜひご覧ください。



8-1 日本郵船歴史博物館 近代日本海運をたどる企業博物館

1936 年に建てられた古典主義様式が特徴の横浜郵船ビル 1 階にある、綜合物流企業・日本郵船の企業博物館です。常設展示では映像を中心とした船員や船客、客船パンフレットを展示しています。中でも幻のモデルシップメーカー、初代船体模型製作所による船体模型は、昭和初期に活躍した「浅間丸」や「氷川丸」などの竣工当時の姿が細部まで表現される力があります。



年間を通じて多彩な企画展も開催しており、近代日本の海運史を、日本郵船の社史を通じて多角的に紹介しています。

8-2 日本郵船氷川丸 海に浮かぶ文化遺産

氷川丸は昭和 5 年(1930)に横浜で建造され、シアル航路へ就航した貨客船です。約 30 年にわたる航海を終えて、昭和 36 年(1961)に山下公園前に係留されて以来、横浜港のシンボルとして多くの人々に親しまれています。船内は美しいアールデコ様式の「船客エアリ」、乗組員たちの仕事場を紹介する「乗組員エアリ」、氷川丸の歴史を伝えする「展示エアリ」があります。屋外デッキでは、港の景色を楽しめます。



9 神奈川県立歴史博物館 かながわの歴史と文化、みどころ満さい

旧石器時代から 1964 年の東京オリンピックごろまでのかながわの歴史と文化について、常設展示を行なう企画展示室、学芸員の調査研究の成果にもとづく特別展・コレクション展示・特別陳列など各種の講座など、さまざまな事業を展開しています。国指定重要文化財・史跡である旧横浜銀行本店を活用した建物の中、貴重な歴史資料や美術作品、そしてそこに集う人たちとの出会いをお楽しみください。



10 JICA 横浜海外移住資料館 みなどみらいで海外移住の歴史をたどる

様々な文化や海外移住の発祥の地でもある横浜みどりみらい地区。ここにこれまでの海外移住資料館は、海外移住の起点となったハワイを含む北米と、中南米の国々への日本人移住の歴史と日系人の暮らしを紹介しています。展示資料や 3 面映像シアター、トリックアートなどを通じて移住者・日系人の足跡をたどることで、今日本国内で進んでいる多文化共生について考えるきっかけにしてみませんか? 横浜にお越しの際は、当館の見学とあわせて、横浜港を一望できる 3 階レストランにもぜひお立ち寄りください。



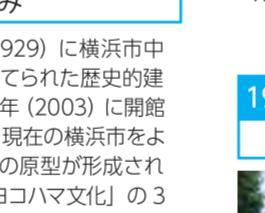
11 横浜開港資料館 日本の近代、ここに始まる

横浜開港資料館は、「近代横浜の記憶装置」として出版等を通じて横浜の近代史を発信とともに、約 25 万点の所蔵資料を閲覧室にて公開しています。当館は安政元年(1854)に江戸幕府とアメリカのペリー提督が日本と米国の間に締結した「日米通商と使節交換のための通商条約」を記念して建設されています。中庭にある「たまくすの木」は、ペリー来航時から存在する横浜の生き証人で、関東大震災や横浜大空襲をくり抜けて現在に至っています。また、旧館は昭和 6 年(1931)に建てられたイギリス領事館(横浜市指定文化財)を活用しています。



12 横浜都市発展記念館 目で見る「都市横浜」のあゆみ

当館は、昭和 4 年(1929)に横浜市中央電話局の局舎として建てられた歴史的建造物を活用し、平成 15 年(2003)に開館しました。常設展では、現在の横浜市をよりよく理解するため、その原型が形成された昭和前期を中心に、「都市形成」、「市民のくらし」、「ヨコハマ文化」の 3 つの側面から都市横浜のあゆみを紹介しています。また、横浜の都市史、近現代史に関する最新の研究成果を企画展や講座、紀要等で発表しています。中庭には土木遺構も展示しておりますので、ぜひご覧ください。



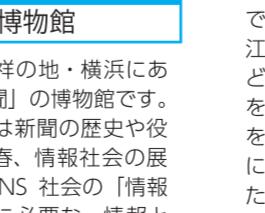
13 横浜ユーラシア文化館 ユーラシアの広がりと多様性に触れる

当館は広大なユーラシア地域に暮らす人々との民族・考古・歴史・美術に関する資料を展示紹介する施設です。常設展示では、「沙漠と草原」、「色と形」、「技」、「装う」、「伝える」のテーマのもと、異なる地域、異なる時代の資源を一堂に展示しています。それらを比較することで、様々な民族のつながりや多様性、違うことの面白さや素晴らしさに気づいていただければ幸いです。約 5000 年前の中国の彩陶鉢や約 4000 年前のシリアの土製羊など、时空を超えた逸品の数々を窓間にご覧いただけます。国際都市横浜ならではの、世界を眺望する博物館です。



14 ニュースパーク(日本新聞博物館) 楽しく、深く、情報と新聞を学ぶ博物館

日本新聞発祥の地・横浜にある「情報と新聞」の博物館です。常設展示室では新聞の歴史や役割を紹介。今春、情報社会の「情報の森」の冒險に必要な、情報との付き合い方を学ぶコーナーを設けました。タブレット端末を使って過去の横浜を取り材するゲーム「横浜タイムトラベル」など楽しく体験できるプログラムも用意。年3回、新聞やジャーナリズムに関連した企画展を開催しているほか、館内で随時ミニ展示を実施しています。



15 ブリキのおもちゃ博物館 ノスタルジックなブリキのおもちゃたち

ブリキのおもちゃ博物館では、1890 年代から 1960 年代にかけて主に日本で製造された玩具約 3000 点を常設展示しています。これは館長の北原照久が 1973 年頃から収集したコレクションの一部です。古い洋館に展示されたおもちゃは、乗り物や動物、ロボットなどにコーナーが別れており、時代を超えて楽しむことができます。異国情緒あふ